

2023 年度 事業報告（各委員会活動報告）

1 総務委員会（委員長：堀口勝人/藤原毅）

①会長、副会長、各委員長、顧問で構成した総務委員会を毎月理事会の1週間前に招集(会議室及びオンライン会議)し、委員会等からの様々な提案事項を検討・審議し、その結果を理事会へ報告または上程した。また、各委員会間にまたがるような日本人会の運営上の課題や中長期の各種課題に対して議論を行い、必要に応じ継続的に審議するようにした。

②理事会議事録を作成し、理事会の検討事項・審議内容を正確に記録した。

③その他

- ・2023年8月：アジア域内事務局長会議参加報告
- ・2023年12月：事務局長の契約更新（2025年3月迄）
- ・2023年12月：岩手県知事来館
- ・2024年2月：JCKLの許認可・ライセンスについて一覧表の更新
- ・2024年3月：日本人会の保険付保状況、非常時対応マニュアルの確認、令和6年能登半島地震義援金募集

1-1 規約関係（担当：中林透）

特になし

1-2 セカンドホーム関係（担当：柳井教男）

特になし

2 企画広報委員会（委員長：中島裕美）

2023年10月：JCKL60周年記念式典（招待者約70名）これまでKL日本人会の設立や運営にご協力、ご支援いただいた方々をお招きし、また各方面からご祝辞を頂戴し、歴史の深さを改めて感じるとともに次の10年につながる会となった。

2023年10月：第5回秋の味覚を楽しむ会（参加者約110名）家族連れから単身者まで幅広く参加頂いた。日本人会ならではの企画で、参加された方からは高評価をいただいた。

2023年12月：クリスマス会（参加者約800名）当日は帝京マレーシアの学生やボランティアの方の多大なるご協力のもと、盛大に開催することができ、参加した大勢のお子さんたちにもたいへん楽しんでいただいた。

所感：23年度はKL日本人会の設立60周年にあたり、厳かに、また和やかな式典を開催できた。秋の味覚を楽しむ会、クリスマス会は活況な盛り上がりとなり、日本人会の広報としては有効な活動であると思われる。参加者からの要望や改善点を踏まえて24年度も継続して開催することを検討したい。また、従来は参加の少ない小学校高学年、及び中学生を対象としたイベントについても新規に検討したい。

2-1 会員関係（担当：松尾義裕）

偶数月に開催している「新規入会者の集い」は、6月と12月を除き、4回実施し、合計で168名（88世帯）の参加があった。

2-2 ニュースレター編集委員会（編集長：柳井教男）

- ・毎月初旬にホームページへ掲載、E-mailにて会員へのお知らせを発信してきた。
- ・今年度の編集委員会は対面にて、2か月に1回ボランティア編集員によるニュースレター編集会議を招集し、毎号の特集内容、その時期にあったコンテンツを検討、編集方針を決定した。この決定内

容に従い、編集委員による取材活動、原稿の作成を実施。また寄稿については原稿の作成依頼を関係機関・諸氏に行い、編集・校正作業を実施した。

3 財務委員会（委員長：高松文生）

- ・定例理事会にて月次財務報告を行った。
- ・期末処理として、不良債権償却（RM30）、雑益計上（RM964.60）を行った。
- ・2024年3月：2023年度（2024年3月31日終了）の決算は約3万6千リンギの現金収支マイン、減価償却費計上後の税後損益はマイナス19万6千リンギという結果であった。

4 クラブハウス委員会（委員長：平田順久）

- ・2023年9月：斜面上の住居増築建設に関する調査発注
- ・2023年12月：会館東側斜面点検を行い、斜面の状態に問題はないとの結果を確認

4-1 クラブハウス将来計画小委員会（委員長：平田順久）

2023年5月：2023年3月31日終了事業年度の決算では、約412千リンギの現金収支プラス、当小委員会内で2023年度の新会館建設積立金計上額を検討した結果、412千リンギットを積立てることを理事会で決議。また、合わせて2019年に消防法対策工事の際に取り崩した新会館建設口座の定期預金相当分589千リンギを同積立金から取り崩すことについても理事会の承認を得、積立て・取り崩しの調整を実施し、積立金の残高が現在365万リンギとなっていることについて、2023年6月第59回年次総会で報告を行った。

5 店舗委員会（委員長：安部智晴/大澤理一郎）

- ・特になし

6 文化活動委員会（委員長：犬塚麻由香）

- ・2024年3月末現在、部活動：15、同好会活動：31 合計：46の部・同好会が活動。
発足2（尺八、軽音楽）、廃止1（和太鼓）
- ・イベント申請：1件
- ・2023年度日本語講座は、1学期4クラス開講、2学期4クラス開講
- ・料理教室4回、パティッククラス大人2回、子供3回実施
- ・2023年8月：JFKL第20回高校生日本語弁論大会への協力（審査委員長派遣）
- ・2023年9月：JFKL日本映画祭への広報協力
- ・2023年10月：マラヤ大学「日本人家庭訪問実施」への協力
- ・2023年11月：JFKL日本語スキットコンテストへの協力（審査員派遣）

7 スポーツ活動委員会（委員長：柏原貞俊）

- ・2024年3月末現在、部活動：11部、9同好会、合計：20部・同好会が活動。
新規発足・廃止ともになし。・イベント申請：5件、・JSKL施設利用：4件

8 学校委員会（委員長：星合大）

1) 園児・児童・生徒数の推移

コロナ禍が終息し、児童・生徒数は回復傾向にはあるものの、未だに不安定な状態が継続しており注視が必要。園児数は、教員不足で2023年4月から約半年間、年少組を一時閉鎖したことから伸び悩む。

2022～2023 年度 園児・児童・生徒数の推移

年 月	幼稚部	小学部	中学部	合 計
2022 年 4 月	38	346	89	473
2023 年 3 月	63	395	91	549
2023 年 4 月	43	371	110	524
2024 年 3 月	56	373	106	535

2) 学校教育目標と教育の重点

2023 年度は、新型コロナウイルス感染症が終息し、再び正常な状態の中で魅力ある学校を目指して教育活動を行うことができた。

学校教育目標は、従来通り「たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた児童・生徒の育成」とし、その“めざす学校像”は「入ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかった JSKL」、「めざす子どもの姿」は「元気で最後まで取り組める子、誰にでもやさしく出来る子、夢を持って世界へはばたける子」、「めざす教師像」は「優れた授業で勝負する教師、子どものよさを育て共に成長する教師、常に努力を惜しまない教師」を掲げて教育活動を推進した。

3) 学校経営

急激に学校経営環境が変化する時代の中で本校は、子どもの学習機会と学力の向上、全人的な発達・成長などを保障し、グローバル人材の育成が強く求められていることに留意した学校経営に努めた。在外教育施設として子どもや保護者に求められる学校づくり、魅力ある学校づくりのために重点を置いた取り組みは、「ICT 教育の充実」「英語教育の充実」「国際交流会の実施」「心の教育の充実」「イマージョンスイミング (IS) の充実」である。

例えば、「ICT 教育の充実」については、昨年度から中学部において教育機器クロムブックの個人持ちをスタートさせた。中学部で活用していたクロムブックは小学部へと活用の範囲を広げることとなった。全学年においてクロムブックや iPad などの ICT 機器が 1 人 1 台使える環境が整い、ICT 機器を活用した授業実践の充実を図ることを通して、情報活用能力や問題発見・課題解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の確実な育成を目指してきた。

また、「英語教育の充実」では、ローカル校との国際交流会を全学年で行った。EC 授業で学んだ日頃の成果を発揮し、英語を使って交流できたことで、英会話を中心としたコミュニケーション能力の育成につながった。

さらに、「心の教育の充実」では、「ゆたかな心の育成」を目標に掲げ、すべての教育活動において道徳性を培うことを目指した道徳教育に力を入れるとともに、互いに学び合い、高め合う学級集団になるよう継続的な指導を展開できた。

最後に、本校が目指す「勤めてよかった JSKL」に近づくよう教育課程の一部見直しや会議の精選など図り、本来の業務である子どもへの指導に時間をかけられるよう教員の業務改善を進めた。

4) 2023 年度 (令和 5 年度) 予算・決算

コロナ禍は終息したものの、児童生徒数の回復には時間が掛かるものと想定し、授業料を改訂して収入確保を図った。一方、幼稚部は教員採用に苦戦し、年度前半はやむなく年少組を一時閉鎖してご迷惑をお掛けしたが、10 月ようやく教員を採用して 11 月より年少組を再開した。

① 学校一般会計 (小・中学部)

年間平均児童生徒数は予想通りの微増 (481 名 前年比 102%) で着地。支出は電気代等の高騰が続いたものの、収支は予算通りで若干の赤字で着地した。

② 学校一般会計 (幼稚部)

1 年間の年少組閉鎖を前提として年間平均園児数を 50 名 (前年比 89%) で予算

策定した。実際には 11 月から年少組が再開できたものの、園児数の急回復にはつながらず、想定通りの 50 名で着地。支出は年後半からの教員 1 名分の固定費負担等が収支を圧迫し、-7 千リンギの赤字となった。

③学校維持会計

学校維持会計は、学校施設に付随する各種設備等の調達・保守・維持を扱っている。収入は園児・児童・生徒数が安定推移したことから概ね想定通りで着地した。支出は、春休み実施の大規模工事（WiFi 機器交換、高架水槽交換、校務システム等）の請求が 4 月にずれ込んだこと等から予算消化に遅れが発生した。その他、予定していたインフラ補修工事等も次年度での早期実施を目指す。

④新校舎会計

新校舎会計は、学校の校舎、施設等の固定資産管理と、現スパン校舎建設から 50 年後（2042 年）の校舎建替えの為の資金積み立てを目的として運営している。近年では 2021 年末より開始した校舎改修工事プロジェクトの資金管理を司ってきたが、2023 年度で工事は完了した。

（預金残高：実績 27,185 千リンギ、前年差 2,126 千リンギ減）

所感:2023 年は近年の人件費や物価の大幅な上昇に加えて電気料金等のインフラコストが高騰し大きな経営圧迫要因となったが、小中学部は適切な収入確保で、おおむね安定経営が図れた。一方、校内業務については改善の余地あり、優先順位をつけて着実に対策を図りたい。幼稚部はコロナ禍以降、園児数と教員数にアンバランスが生まれ、年度初めには年少組を一時閉鎖する等、ご迷惑をかけた。単年度視点だけにとられず、中期を見越した経営の安定化を図りたい。

教育環境整備については校舎躯体を中心とした老朽化対策工事は完了したが、昨年後半より設備インフラを中心とした不具合が頻発している。工事業者とタイアップし、総合的且つ抜本的な対策を図っていきたい。

9 教育施設管理委員会（委員長：神林義之）

- ・2023 年 12 月：帝京マレーシアと日本人会の覚書更新。2018 年 1 月より会館の使用に関する 1 年間の覚書を締結しており、来年度分について同社と覚書を取り交わした。
- ・2024 年 2 月：KL 日本人幼稚園と家賃値上げ交渉の上、家賃を増額し、契約を更新（3 年）した。

所感：今年 KL に開設される筑波大学ともうまく連携していきたいと感じた。

10 福利厚生委員会（委員長：小野澤麻衣/菅原美奈子）

- ・はぐくみ会：13 回開催（月 1 回の実施）
- ・出産準備教室：6 月、10 月、2 月の 3 回実施
- ・オンライン無料健康相談室（バートよしみ先生）：11 回実施（6 月を除く月 1 回）2023 年度は、合計 38 名の相談を受けていただいた。
- ・2023 年 6 月：在宅介護セミナー開催（聴講者約 20 名）
- ・2023 年 8 月：オーソモレキュラー栄養療法セミナー開催（聴講者約 40 名）
- ・2024 年 2 月：千葉大学セラピストによる無料カウンセリングの案内

所感：はぐくみ会、出産準備教室の実施にあたっては活動にご協力いただいているボランティアの皆様へ感謝申し上げます。また、オンライン無料健康相談についても、長年バートよしみ先生にボランティアで実施頂いており、そのご尽力に心より感謝申し上げます。

24 年 2 月より千葉大学による無料カウンセリングも開始され、会員皆様の心とからだの健康の維持にさらにお役に立てるような活動を継続してまいりたいと思います。

11 日本人墓地維持管理委員会（委員長：藤井純一）

- ・2023年9月10日：秋季慰霊祭：広島県呉市、浄土寺副住職、良輝和尚の先導により実施。
- ・2024年1月：埋葬申請1件(会員ご本人死亡退会)
- ・2024年3月5日：春季慰霊祭：広島県呉市、浄土寺副住職、良輝和尚の先導により実施。

【日本からの墓地訪問】

- ・2023年6月：永岡文部科学大臣
- ・2023年10月：宮下農林水産大臣
- ・2023年11月：岸田総理大臣

【管理人契約】

- ・現管理人の高齢化により健康状態と勤務遂行状況を確認しながら、契約の更新を3回行った。① 2023年9月～12月末、②2024年1月～3月末、③4月～6月末

12 ITシステム委員会（委員長：柳井教男）

- ・2024年1月：新会員システムの稼働開始。会員マイページへログインすると、登録情報の変更や講座申込、会費の支払い等がオンラインで行なうことが可能となった。

13 盆踊り実行委員会（2023）（委員長：荘司憲一）

2023年7月22日（土）19:00より Kompleks Sukan Negara Shah Alam にて、第47回盆踊り大会を開催。来場者数推定4万人。大きな事故などなく成功裏に終了した。例年に倣い、実行委員会を組織し、警備会社も起用して警備強化、安全対策を行った。

14 バザー実行委員会（2023）（委員長：中林徹）

婦人部かとれあ会創立50周年。2023年11月5日（日）10時30分～15時、第51回チャリティバザーを Eastin Hotel にて開催した。当日は来場者約1,200名（関係者ボランティア含む）バザー当日売上げ収益と皆様からの現金ご寄付から次年度の会計監査費と税務申告費の積立金等を除いて、約RM97,500を12ヶ所の福祉施設に寄付する提案を、JCKL 慈善基金に対し行った。

15 新年会実行委員会（2024）（委員長：飯塚隆史）

2024年1月13日に第29回新年会を会館にて開催、約1,200名の参加者があったが、事故・怪我無く、無事終了した。会館内及び駐車場に飲食の10テントを設置して実施した。駐車場でライオンダンスに始まり、第1ホールのステージでは、セレモニー、JSKL 園児及び部同好会の発表、和太鼓演奏が行われた。子供たちの楽しめるコーナーとして、ヨーヨー釣りや絵馬作り、福笑いを実施。

16 海外安全関係（担当：山田元一郎）

コロナ以前に戻りつつある国際的な人の往来に伴う安全対策等について情報提供を行った。

17 婦人部（担当：細川純治）（詳細は、かとれあ会より後日入手予定）

■地元への社会貢献■

(1) 定期的なボランティア訪問支援活動

下記①と②の施設にてボランティア活動を行った。

- ① ブキナス身障者施設（Asrama Cahaya Rumah Wanita Cacat, Jalan Bukit Nanas）
9月 KL 日本人会会館にてブキナスボランティアチャリティバザーを開催し、ブキナス身障者施設入居者が製作した手芸品の販売をお手伝いした。11月 第51回 KL 日本人会チャリティバザー2023に参加、ブキナス身障者施設ブースの販売係としてお手伝い。
12月 ブキナス身障者施設へクリスマスプレゼントお渡し。

② PJ スパスティックセンター音楽セラピー（Spastic Children Association of Selangor & W.P）
2023年1月～11月 施設にて子ども達と音楽に合わせた運動。

11月 第51回 KL 日本人会チャリティバザー2023に参加、PJ スパスティックセンターブースの販売係としてお手伝い。福祉施設①と②ボランティアグループ連絡係とかとれあ会役員との連絡会を7月と2月に開催した。

(2) 慈善活動・行事関連

① 寄付先福祉施設との交流

- ・ 6月～9月 2022年度の寄付先福祉施設7箇所を訪問。
- ・ 3月 オンラインにて寄付先福祉施設2箇所をバーチャル訪問。

② チャリティバザー関連

- ・ 6月～12月：バザー活動の一環として、バザーサポーター／手芸品製作チームの皆さんと連携して活動。
- ・ 9月～11月：チャリティバザー開催に向けて準備と協賛品・手芸品の値付け作業、販売品納品手続き、バザー実行委員会に出席、かとれあ Mini バザーを開催。
- ・ 11月5日(日) Eastin Hotel にて第51回 KL 日本人会チャリティバザー2023を開催。
チャリティバザー活動収益金（法人会員からの寄付金を含む）：RM178,541.46
- ・ 3月8日(金) バザー収益金ドネーション贈呈式を行い、マレーシアの12福祉施設に総額RM97,500を寄付。

■日本人会関係イベント■

以下の日本人会開催イベントに協力

- 1) 1月 KL 日本人会新年会に当日のお手伝いとして参加
- 2) 3と9月 春と秋の慰霊祭にお手伝いとして参加
- 3) 7月 盆踊り大会に当日のお手伝いとして参加
- 4) 日本人会新規入会者の集いでかとれあ会活動の紹介

■日本人学校 PTA との交流 ■

かとれあ会役員、バザーサポーター、PTA 役員の選出に際し、連携。

所感：2023年度の婦人部会担当理事として、マレーシアの福祉施設訪問、チャリティバザーの実施、地元の福祉施設でのボランティア活動などを始めとしたかとれあ会役員、バザーサポーター、福祉施設ボランティアの皆さんの素晴らしい活動を拝見し、感銘を受けると共にかとれあ会の皆さんの各自の姿勢、使命感には大変驚愕し、感謝しております。

ドネーション贈呈式での福祉施設の方々の嬉しそうな笑顔を見て、かとれあ会の社会貢献活動は欠かせない活動であると感じました。

そして改めて51年の長きに渡りチャリティバザー活動を継続してきた尊さを思い、日本人会に於けるかとれあ会は福祉のみならず日馬友好へ大きく貢献しているのだという思いを強く致しました。

これからも、会員の皆様が気楽に参加して喜んで頂けるような企画運営を通じて、社会福祉と日馬友好に貢献し続けて頂きたいと思えます。

18 全マレーシア日本人会（担当：堀口勝人）

第44回マレーシア全日本人会連絡会が、2023年10月6日（金）KL 日本人会会館にて開催された。（今回はKL 日本人会が幹事）全マレーシア12か所の日本人会のうち、今回は6か所の代表が参加した。（東マレーシアからの参加はなかった）また、同時に大使館主催の第42回安全対策協議会が開催され、外務省海外安全ホームページから、感染危険情報等について、またマレーシアの安全情報が共有された。

以上

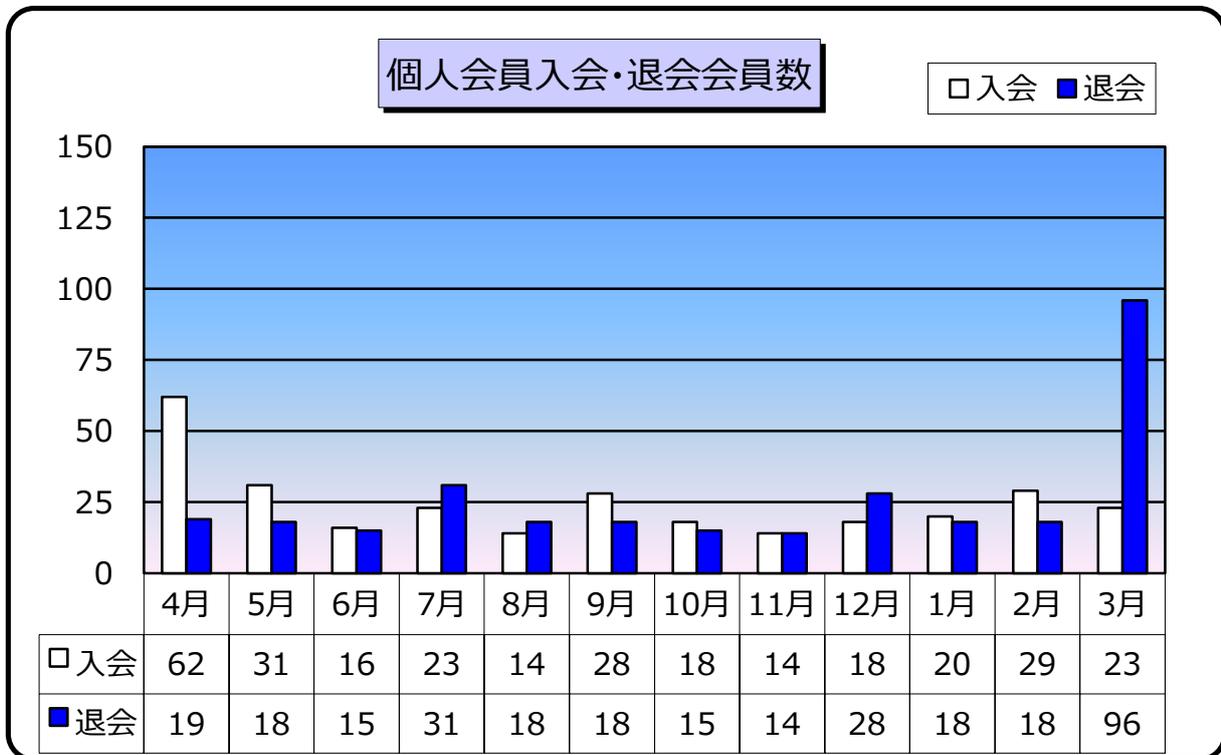
KL日本人会会員数推移

2023 年度

(2023年4月～2024年3月)

	入会会員数				退会会員数				会員数				
	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	内 MM2H	賛助	学生
									276	1256 / 2992	194 / 342	293 / 579	16
4月	0	62	3	0	1	19	4	2	275	1299 / 3133	194 / 345	292 / 577	14
5月	0	31	4	1	1	18	6	1	274	1312 / 3157	195 / 347	290 / 578	14
6月	0	16	2	0	0	15	2	1	274	1313 / 3146	197 / 349	290 / 582	13
7月	2	23	2	0	1	31	2	0	275	1305 / 3119	196 / 347	290 / 580	13
8月	0	14	6	0	0	18	2	0	275	1301 / 3124	196 / 346	294 / 592	13
9月	0	28	3	0	2	18	2	1	273	1311 / 3163	196 / 345	295 / 592	12
10月	0	18	11	0	0	15	4	1	273	1314 / 3172	197 / 346	302 / 609	11
11月	2	14	3	0	2	14	1	0	273	1314 / 3175	194 / 339	304 / 612	11
12月	2	18	1	0	0	28	3	1	275	1304 / 3148	196 / 343	302 / 605	10
1月	1	20	1	1	1	18	4	0	275	1306 / 3145	197 / 343	299 / 590	11
2月	0	29	2	0	3	18	0	0	272	1317 / 3174	196 / 339	301 / 593	11
3月	0	23	4	0	3	96	6	0	269	1244 / 2976	193 / 331	299 / 585	11
合計	7	296	42	2	14	308	36	7	※ ※				

※ 会員数 / 総数(含家族会員数)



KL日本人会会員推移グラフ

(年/会員タイプ別)

